

『日本の伝統芸能と民族文化財を学ぶ』

(北見真知子先生)

- 《1》 講座：第6回 神楽
- 《2》 日時：2025(R07)年 10月08日(水) 10時~12時、午後は希望者で山本能楽堂を見学
- 《3》 場所：茨木市クリエイトセンター
- 《4》 参加者：受講生:33名、CA:2名
- 《5》 概要：今回は神楽について講義でした。

いつものように、わかりやすく、内容の充実した講義で、神楽全般について理解を深めることができました。



- 《6》 神楽とは「神道の神事において神に奉納される歌舞」で、①宮中の「御神楽(みかぐら)」と②各地の神社で行われる「里神楽」(民族芸能の神楽)がある。

なお、神楽の演目の題材となっている神話として五つある。

・国生み ・天の岩戸 ・八岐大蛇退治 ・国譲り ・天孫降臨

① 御神楽 (基本的には非公開)

宮中に伝わる歌舞の中でも、特に神事と深く結びついた、最も重要な儀式音楽の一つ。(平安時代に実施された記録がある)

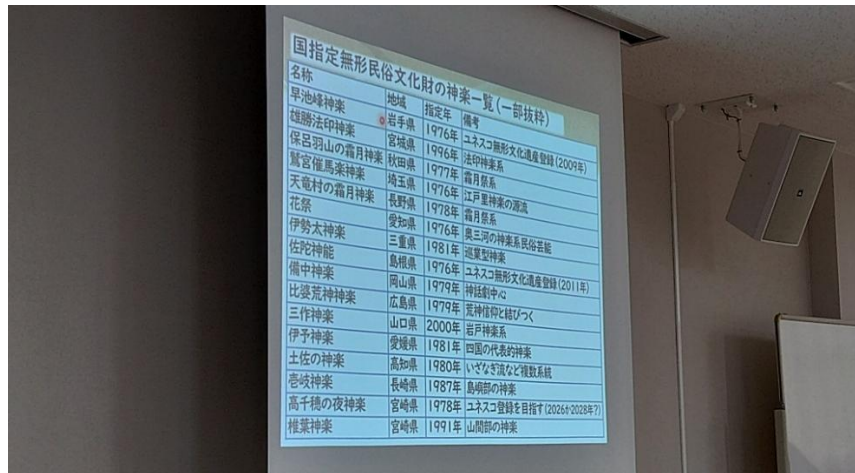
宮中のほかに、伊勢神宮・春日大社・鶴岡八幡宮・伏見稲荷大社などで、神職による御神楽の奉奏が継承。

② 里神楽(民族芸能の神楽)

- ・鎌倉～室町時代に宮廷神楽の様式が伝播し、地方独自の様式が形成。
- ・地域の農耕儀礼などと結びつき、芸能としての側面も強まる。

国指定無形民俗文化財に登録されているのは「里神楽」の方。

いくつも登録されているが、なかにはユネスコ無形文化遺産登録も二つあり、現在三つ目の登録を目指している。



名称	地域	指定年	備考
早池峰神楽	岩手県	1976年	
雄勝法印神楽	宮城県	1976年	ユネスコ無形文化遺産登録(2009年)
保呂羽山の霜月神楽	秋田県	1977年	法印神楽系
賀宮権馬楽神楽	埼玉県	1976年	江戸里神楽の源流
天竜村の霜月神楽	長野県	1978年	霜月系
花祭	愛知県	1976年	奥三河の神楽系民俗芸能
伊勢太神楽	三重県	1981年	近畿型神楽
佐陀神能	島根県	1976年	ユネスコ無形文化遺産登録(2011年)
備中神楽	岡山県	1979年	神託劇中心
比婆荒神神楽	広島県	1979年	荒神信仰と結びつく
三作神楽	山口県	2000年	江戸神楽系
伊予神楽	愛媛県	1981年	四国の代表的な神楽
土佐の神楽	高知県	1980年	いざなぎ流など複数系統
巻岐神楽	長崎県	1987年	島原部の神楽
高千穂の夜神楽	宮崎県	1978年	ユネスコ登録を目指す(2026-2028年?)
権葉神楽	宮崎県	1991年	山間部の神楽

≪7≫ 「里神楽」の分類

① 巫女神楽

② 出雲流の神楽

出雲の佐陀大社の御座替祭を源流とする神楽。(動画を視聴)

七座と神能 12 段(ユネスコ登録)がある。

これを源流として全国に広がり、各地方独自に発展。

③ 伊勢流の神楽

伊勢神宮の外宮で行われていた「湯立神楽」を源流とする神楽。

これも全国に伝播。(愛知県奥三河の「花祭」の動画を視聴)

④ 獅子神楽

一定の場所に神座を設けるのではなく、獅子頭をもって家々を訪問。

≪8≫ 山本能楽堂の見学(午後のクラス活動)

希望者 20 名と CA さんで、午後から山本能楽堂の見学に行かれた。

私は、ONCC 8 期の「何でもみてやろう」で 2020 年 09 月 02 日に見学しているので、今回は出席を見合わせました。

(ブログ担当：5 班 i)